

授業科目 教育心理学 II

| 【担当教員名】 遠山 孝司 | | 対象学年 | 2 | 対象学科 | スポ |
|---|--------------------------|---|-------|-------|----------------------|
| | | 開講時期 | 前期 | 必修選択 | 選択 |
| | | 単位数 | 1 | 時間数 | 15 |
| 【ディプロマポリシーとの関連性】 | | | | | |
| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 | |
| ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 【概要・一般目標：G10】 児童・生徒の発達面、学習面、社会面、進路面における諸問題に対する心理教育的支援サービスを効果的に行うための基本的知識と態度の習得を目的とする。 あわせて、障害児に関する心理学的理解を深めるとともに、障害児の発達を支援するために必要な知識を身につける。 さらに、欲求やストレスについての理解を深めるとともに、教育において他者のQOLを高めるために必要な知識を身につける。 | | | | | |
| 【学習目標・行動目標：SBO】 | | | | | |
| 1. 発達に関する理論、発達障害（障）の諸様相を理解し、児童生徒の発達に応じた指導教育が考えられるようになる | | | | | |
| 2. パーソナリティや知能に関する理論を理解し、児童生徒の個人差に応じた指導教育が考えられるようになる | | | | | |
| 3. 欲求と動機、ストレスと不安などの諸理論を理解し、児童生徒が自発的に課題に取り組むような指導教育、児童生徒のQOLを高める指導教育が考えられるようになる | | | | | |
| 回数 | 授業計画・学習の主題 | | | SBO番号 | 学習方法・学習課題 備考・担当教員 |
| 1 | 発達の心理学（発達とは） | | | 1 | 講義と小レポート |
| 2 | 発達の心理学（発達段階説） | | | 1 | 講義と小レポート |
| 3 | 発達の心理学（認知、言語、道徳性の発達） | | | 1 | 講義と小レポート |
| 4 | 発達の心理学（発達における個人差と障） | | | 1 | 講義と小レポート |
| 5 | パーソナリティの心理学（パーソナリティの諸理論） | | | 2 | 講義と小レポート |
| 6 | パーソナリティの心理学（パーソナリティの測定） | | | 2 | 講義と小レポート |
| 7 | 欲求と動機の心理 | | | 3 | 講義と小レポート |
| 8 | ストレスと不安の心理 | | | 3 | 講義と小レポート |
| 【使用図書】 | | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格 他> |
| 教科書 (必ず購入する書籍) | | なし | | | |
| 参考書 | | なし | | | |
| その他の資料 | | 資料は適宜配布する | | | |
| 【評価方法】 期末試験（100％） | | 【履修上の留意点】 履修上の留意点は初回授業時に周知するので必ず参加すること。 教育心理学 I と II をあわせて試験を行うため、同時期に履修すること。 講義内容を単純に覚えることではなく、講義内容を基に自分自身や自分の身の回りの人間、自分の過去や将来像、人間観などに当てはめて深く考えること、自分が考えた内容を表現できるようになることを求める。 | | | |